

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場会社名 科研製薬株式会社  
 コード番号 4521 URL <http://www.kaken.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 四朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 遠藤 孝雄  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 03-5977-5002

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	20,493	—	2,964	—	2,939	—	1,754	—
20年3月期第1四半期	19,782	10.0	2,908	109.0	2,823	122.7	1,403	73.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	17.32	—
20年3月期第1四半期	13.14	12.95

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	96,370	58,092	58,092	58,092	60.3	573.42
20年3月期	93,856	57,447	57,447	57,447	61.2	567.02

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 58,092百万円 20年3月期 57,447百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	11.50	—	11.50	23.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	40,400	—	5,300	—	5,000	—	2,900	—	28.63
通期	82,800	3.6	10,200	3.6	9,700	3.7	5,600	9.7	55.28

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 114,879,461株 20年3月期 114,879,461株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 13,571,122株 20年3月期 13,564,112株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 101,313,814株 20年3月期第1四半期 106,792,207株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界を取り巻く環境は、後発品の使用促進などの医療費抑制策が浸透するなかで、本年4月には薬価改定が行われるなど、引き続き厳しい状況にありました。

このような状況の下、当社グループは医療現場のニーズに即した付加価値の高い情報提供活動による地域密着型の営業展開につとめてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高 20,493 百万円(対前年同期比 3.6%増)となりました。利益面につきましては、今期は前年同期に計上された契約一時金収入がなく原価率が上昇しましたが、販売費及び一般管理費が減少したことにより、営業利益は 2,964 百万円(対前年同期比 1.9%増)、経常利益は 2,939 百万円(対前年同期比 4.1%増)となりました。特別損益も改善され、その結果、四半期純利益は 1,754 百万円(対前年同期比 25.0%増)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品につきましては、主力品の関節機能改善剤「アルツ」が引き続き好調に売上を伸ばし、医療機器の癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」も順調に伸長しました。創傷治癒促進剤「フィブラストスプレー」、高脂血症治療剤「リピディル」、後発医薬品も売上を伸ばし、慢性動脈閉塞症治療剤「プロサイリン」も横ばいとなりましたが、鎮痛消炎貼付剤「アドフィード等」は減収となりました。

農業薬品につきましては、果樹・野菜・芝用殺菌剤「ポリオキシシン」は増収となりましたが、飼料添加物「サリノマイシン」は減収となりました。

その結果、売上高は 19,880 百万円(対前年同期比 3.6%増)、営業利益は 2,598 百万円(対前年同期比 2.0%増)となりました。

なお、海外売上高は 769 百万円であります。

② 不動産事業

文京グリーンコートの地代が主たる収入である不動産事業につきましては、ほぼ前年実績どおりとなりました。

その結果、売上高は 612 百万円(対前年同期比 2.9%増)、営業利益は 365 百万円(対前年同期比 1.0%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は 96,370 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,513 百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金、有価証券の増加によるものであります。

負債は 38,277 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,868 百万円の増加となりました。これは主に、仕入債務の増加によるものであります。

また、純資産は 58,092 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 644 百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は、60.3%(前連結会計年度末 61.2%)となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末に比べ 2,144 百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には、14,531 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間における営業活動による資金の増加は 3,581 百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は 632 百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間における財務活動による資金の減少は 804 百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 5 月 12 日に発表いたしました業績予想は変更しておりません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(追加情報)

当第 1 四半期連結会計期間より、当社及び連結子会社は、平成 20 年度の法人税法改正にともない、資産の利用状況等を見直した結果、機械装置(医薬品製造設備)の耐用年数を 7 年から 8 年に変更しております。なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

また、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,632	8,288
受取手形及び売掛金	28,245	28,043
有価証券	4,898	4,097
商品及び製品	4,567	4,599
仕掛品	1,694	1,692
原材料及び貯蔵品	3,605	3,646
その他	2,896	2,835
流動資産合計	55,540	53,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,691	18,227
その他	6,895	6,924
有形固定資産合計	25,587	25,151
無形固定資産	480	495
投資その他の資産		
投資有価証券	7,457	7,733
その他	7,305	7,273
投資その他の資産合計	14,762	15,007
固定資産合計	40,830	40,653
資産合計	96,370	93,856

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,947	13,380
短期借入金	5,380	5,380
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払法人税等	1,259	2,092
引当金		
賞与引当金	574	1,155
その他の引当金	505	543
その他	6,325	4,730
流動負債合計	31,992	30,282
固定負債		
引当金		
退職給付引当金	5,245	5,100
その他の引当金	315	303
その他	724	722
固定負債合計	6,285	6,125
負債合計	38,277	36,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	22,727	22,727
利益剰余金	22,181	21,440
自己株式	△ 11,624	△ 11,618
株主資本合計	57,138	56,403
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	954	1,045
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0
評価・換算差額等合計	953	1,044
純資産合計	58,092	57,447
負債純資産合計	96,370	93,856

(2)四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	20,493
売上原価	10,568
売上総利益	9,924
販売費及び一般管理費	
販売促進費	364
給料	1,895
賞与	4
賞与引当金繰入額	365
福利厚生費	249
退職給付費用	257
賃借料	431
旅費及び交通費	376
研究開発費	1,623
その他	1,391
販売費及び一般管理費合計	6,960
営業利益	2,964
営業外収益	
受取利息	12
受取配当金	66
受取保険金	32
その他	40
営業外収益合計	151
営業外費用	
支払利息	34
退職給付会計基準変更時差異の処理額	131
その他	10
営業外費用合計	175
経常利益	2,939
特別利益	
投資有価証券売却益	32
特別利益合計	32
特別損失	
固定資産除却損	21
ゴルフ会員権評価損	3
その他	5
特別損失合計	30
税金等調整前四半期純利益	2,941
法人税等	1,187
四半期純利益	1,754

## (3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	2,941
減価償却費	540
長期前払費用償却額	37
退職給付引当金の増減額(△は減少)	134
受取利息及び受取配当金	△ 79
支払利息	34
ゴルフ会員権評価損	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 32
有形固定資産除却損	21
売上債権の増減額(△は増加)	△ 201
たな卸資産の増減額(△は増加)	70
仕入債務の増減額(△は減少)	1,566
未払消費税の増減額(△は減少)	162
その他	219
小計	5,418
利息及び配当金の受取額	77
利息の支払額	△ 20
法人税等の支払額	△ 1,894
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,581
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△ 754
無形固定資産の取得による支出	△ 30
投資有価証券の取得による支出	△ 30
投資有価証券の売却による収入	185
長期前払費用の取得による支出	△ 12
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 632
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の純増減額(△は増加)	△ 5
配当金の支払額	△ 798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 804
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,144
現金及び現金同等物の期首残高	12,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,531

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	19,880	612	20,493	—	20,493
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	76	76	( 76 )	—
計	19,880	688	20,569	( 76 )	20,493
営業利益	2,598	365	2,964	—	2,964

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主要製品又は内容

薬業……………医薬品、農業薬品

不動産事業……………不動産賃貸、ビルメンテナンス他

3 【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更(追加情報)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、当社及び連結子会社は、機械装置(医薬品製造設備)の耐用年数を変更しております。なお、これによる影響は軽微であります。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

(1) (要約)前四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
I 売上高	19,782
II 売上原価	9,781
売上総利益	10,000
返品調整引当金繰入額	27
差引売上総利益	9,973
III 販売費及び一般管理費	7,065
営業利益	2,908
IV 営業外収益	99
1 受取利息及び配当金	70
2 その他	29
V 営業外費用	184
1 支払利息	31
2 退職給付会計変更時差異償却額	131
3 その他	21
経常利益	2,823
VI 特別利益	1
VII 特別損失	238
税金等調整前四半期純利益	2,586
税金費用	1,183
四半期純利益	1,403

(2) (要約)前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区 分	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,586
減価償却費	471
長期前払費用の償却額	48
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 106
受取利息及び受取配当金	△ 70
支払利息	31
固定資産除却損	33
売上債権の増減額(増加:△)	△ 0
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 832
仕入債務の増減額(減少:△)	738
未払金の増減額(減少:△)	298
未払消費税等の増減額(減少:△)	△ 2
その他	751
小 計	3,948
利息及び配当金の受取額	64
利息の支払額	△ 18
法人税等の支払額	△ 2,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,447
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△ 0
有形固定資産の取得による支出	△ 543
無形固定資産の取得による支出	△ 47
長期前払費用にかかる支出	△ 28
その他	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 601
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得・売却による純支出	△ 13
親会社による配当金の支払額	△ 695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 708
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	137
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	11,914
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	12,051

(3)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	薬業	不動産事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	19,187	595	19,782	—	19,782
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	76	76	( 76 )	—
計	19,187	671	19,858	( 76 )	19,782
営業利益	2,546	362	2,908	—	2,908

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主要製品又は内容

薬業……………医薬品、農業薬品

不動産事業……………不動産賃貸、ビルメンテナンス他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。